

# 西脇市・黒田庄町合併協定調印式会議録

と き 平成16年11月25日

ところ 西脇市立音楽ホール

西脇市・黒田庄町合併協議会

西脇市・黒田庄町合併協定調印式次第

日時：平成16年11月25日(木)  
午後2時から  
場所：西脇市立音楽ホール アピカホール

- |             |                            |                        |
|-------------|----------------------------|------------------------|
| 1 開式のことば    | 西脇市収入役                     | 高瀬 寿之                  |
| 2 合併協議の経過報告 | 合併協議会幹事長<br>黒田庄町助役         | 藤原 泰一                  |
| 3 合併協定書調印   | 西脇市長<br>黒田庄町長              | 内橋 直昭<br>東野 敏弘         |
| 4 立会人署名     | 兵庫県副知事                     | 合併協議会委員<br>藤本 和弘       |
| 5 合併協定書披露   |                            |                        |
| 6 主催者挨拶     | 西脇市長<br>黒田庄町長              | 内橋 直昭<br>東野 敏弘         |
| 7 来賓祝辞      | 兵庫県副知事<br>衆議院議員<br>兵庫県議会議員 | 藤本 和弘<br>井上 喜一<br>山本 章 |
| 8 来賓紹介      |                            |                        |
| 9 謝辞        | 西脇市助役                      | 來住 壽一                  |
| 10 ピアノ演奏    |                            | 長井 典子                  |
| 11 閉式のことば   | 黒田庄町収入役                    | 松原 照幸                  |

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="284 412 373 443">司会者</p> <p data-bbox="252 819 405 851">高瀬収入役</p> <p data-bbox="284 1227 373 1258">司会者</p> <p data-bbox="268 1402 389 1433">藤原助役</p>	<p data-bbox="683 353 1114 385">(開 会 午 後2時00分)</p> <p data-bbox="480 412 938 443">大変長らくお待たせいたしました。</p> <p data-bbox="448 470 1321 560">本日は、大変お忙しいところ、西脇市・黒田庄町合併協定調印式にご出席賜りまして、誠にありがとうございます。</p> <p data-bbox="448 586 1321 676">私は、本日の司会を務めさせていただきます、東野でございます。どうぞよろしく願いいたします。</p> <p data-bbox="448 703 1321 792">それでは、合併協定調印式の開式にあたりまして、西脇市収入役高瀬寿之から開式のことばを申し上げます。</p> <p data-bbox="448 819 1321 1025">失礼いたします。本日ここに、西脇市・黒田庄町合併協議会委員のご出席をいただき、また、藤本兵庫県副知事をはじめ、多数のご来賓、並びに関係の皆様方のご臨席を賜りまして、厳粛に合併協定調印式が挙行できますこと厚く御礼申し上げます。</p> <p data-bbox="448 1052 1321 1142">それでは、早速でございますが、西脇市・黒田庄町合併協定調印式を開式いたします。</p> <p data-bbox="480 1169 938 1200">どうぞよろしく願いいたします。</p> <p data-bbox="448 1227 1321 1375">それでは、はじめに、本日の調印に至るまでの協議経過につきまして、合併協議会幹事長でございます、黒田庄町助役藤原泰一からご報告申し上げます。</p> <p data-bbox="480 1402 699 1433">失礼いたします。</p> <p data-bbox="448 1460 1321 1550">合併協議会の幹事長を仰せつかっております、黒田庄町助役の藤原でございます。</p> <p data-bbox="480 1576 1002 1608">本日は大変ごくろうさまでございます。</p> <p data-bbox="448 1635 1321 1724">合併協定書の調印に先立ちまして、私の方からこれまでの経過につきまして、ご報告を申し上げます。</p> <p data-bbox="448 1751 1321 1841">お手元に配布させていただいております資料の合併協議の経過報告をごらんいただきたいと思います。</p> <p data-bbox="448 1868 1321 1957">ご承知のとおり、現在、本格的な地方分権時代を迎えようとしており、住民にもっとも身近な自治体である市町村は、自己決</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>定、自己責任の下に、多様化・複雑化する地域課題を解決していくことが求められています。</p> <p>そのため、より広域的な観点に立っての施策展開が必要となってきたおり、平成の大合併といわれる市町村合併の取組が全国的に進められているところでございます。</p> <p>そのような中、歴史や文化、経済、また、住民生活の面でもっともつながりの深い、西脇市と黒田庄町において、昨年8月12日に合併研究会を設置し、両市町間の調整を図りながら合併協議会設置に向け準備を進めてまいりました。</p> <p>そして、11月5日に両市町議会の議決を得て、11月7日に法定合併協議会を設置いたしました。</p> <p>第1回の協議会を11月14日に開催し、以来、本日まで14回の開催でございました。また、新市まちづくり計画の策定については、協議会委員のうち住民代表7名から構成する専門の小委員会を設置し、9回にわたり協議をいただきました。</p> <p>協議会では、合併の方式や期日、新市の名称や事務所の位置といった基本項目をはじめ、分野ごとの各種事務事業の取扱い、そして、新市建設計画の合計44項目を合併協定項目として、その一つひとつを慎重に協議いただき、第13回の協議会をもってその全ての確認が終わりました。</p> <p>この間、住民意向調査や住民説明会を実施し、合併に関する住民の意向と新市まちづくり計画策定のための意見や要望を把握してまいりました。</p> <p>また、本日の第14回協議会では、新市建設計画について、兵庫県との協議も終了し、異議がない旨回答をいただき、その報告をいたしたところでございます。</p> <p>これらを受け、本日ここに両市町の合併協定調印を迎えるに至ったわけでございます。</p> <p>協議会で確認いただきました合併協定項目の内容につきまして</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
司会者	<p>は、合併協定書として取りまとめ、お手元にその写しをお配りさせていただいておりますので、ごらんいただきたいと思います。</p> <p>それでは、合併協定書について、基本4項目についてのみ読み上げさせていただき、合併協定書の内容報告とさせていただきたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 合併の方式 <p>西脇市及び黒田庄町を廃し、その区域をもって新しい市を設置する新設合併（対等合併）とする。</p> </li> <li>2 合併の期日 <p>合併の期日は、平成17年10月1日とする。</p> </li> <li>3 新市の名称 <p>新市の名称は「西脇市」とする。</p> </li> <li>4 新市の事務所の位置 <p>新市の事務所の位置は、西脇市郷瀬町605番地（現在の西脇市役所）とする。</p> <p>現在の黒田庄町役場については、当分の間、新市の支所（地域総合事務所）とする。</p> <p>以上が合併協定の基本項目でございます。</p> <p>なお、今後のスケジュールとしまして、12月に両市町の議会に合併関連議案を提案いたします。これで議決を得ますと、来年3月から6月に県・国の手続を経て、10月1日に新市の発足という予定でございます。</p> <p>以上、非常に簡単ではございますが、合併協議の経過報告とさせていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、ただ今から、合併協定書の調印に移らせていただきます。</p> <p>なお、合併協定書は2部ございますので、2部とも調印をお願いいたします。</p> </li> </ol>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>調印は、正面に用意しております署名席でお願いいたします。</p> <p>調印につきましては、西脇市長、黒田庄町長のご両名にお願いしたいと思います。</p> <p>その後、立会人としての署名を合併協議会委員の皆様、そして最後に特別立会人として、藤本兵庫県副知事にお願いしたいと思います。</p> <p>また、会場の皆様には、受付でお渡ししました封筒の中に、合併協定書の写しを入れておりますのでごらんください。</p> <p>それでは、最初に両市町長は、署名席までお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（両市町長署名席へ）</p>
司会者	<p>それでは、調印をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（両市町長調印）</p>
司会者	<p>合併協定書の調印が整いました。お席にお戻りください。</p> <p style="text-align: center;">（両市町長自席へ）</p>
司会者	<p>続きまして、立会人署名を合併協議会委員の皆様をお願いしたいと思います。</p> <p>私の方で、お名前をご紹介させていただきますので、順次お願いいたします。</p> <p>それでは、最初に合併協議会委員藤原正嗣様、同じく北脇敏敬様、お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（藤原委員・北脇委員署名）</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員村井公平様、同じく上田平八様、お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（村井委員・上田委員署名）</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員神部良夫様、同じく長谷川俊雄様、お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（神部委員・長谷川委員署名）</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員小林茂夫様、同じく三谷康様、お願いいたします。</p> <p>(小林委員・三谷委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員浅田康子様、同じく西村萬里子様、お願いいたします。</p> <p>(浅田委員・西村委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員岩崎貞典様、同じく宮崎正則様、お願いいたします。</p> <p>(岩崎委員・宮崎委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員生田弘之様、同じく東野一彦様、お願いいたします。</p> <p>(生田委員・東野委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員藤井良己様、同じく西山孝彦様、お願いいたします。</p> <p>(藤井委員・西山委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>合併協議会委員櫛笥享夫様お願いいたします。</p> <p>(櫛笥委員署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p> <p>以上で、合併協議会委員の皆様の署名が終わりました。</p> <p>最後になりましたが、兵庫県副知事藤本和弘様お願いいたします。</p> <p>(藤本副知事署名)</p>
司会者	<p>ありがとうございました。お席にお戻りください。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>みなさま、大変ありがとうございました。</p> <p>皆様のお立会いのもと、ここに西脇市と黒田庄町の合併協定調印が正式に整いました。</p> <p>ここで、合併協定書の披露をいただきたいと思います。内橋西脇市長、東野黒田庄町長、正面までお願いいたします。</p> <p>それでは、協定書をお持ちいただき、披露をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（両市町長合併協定書披露）</p> <p style="text-align: center;">（ 拍 手 ）</p>
司会者	<p>内橋西脇市長、東野黒田庄町は、そのまま正面でお待ちいただきたいと思います。</p>
司会者	<p>恐れ入りますが、藤本副知事様、正面へお進みいただきたいと思います。</p>
司会者	<p>ここで、新市発足に向けまして握手を交わしていただきたいと思います。それでは、固い握手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（副知事、両市町長握手）</p>
司会者	<p>皆様、盛大な拍手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（ 拍 手 ）</p>
司会者	<p>ありがとうございました。</p>
司会者	<p>それでは、皆様、お席にお戻りください。</p>
司会者	<p>準備をいたしますので、しばらくお待ちいただきますようお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">（舞台準備）</p>
司会者	<p>それでは、ここで両市町長からごあいさつを申し上げます。</p>
司会者	<p>最初に、内橋西脇市長からごあいさつ申し上げます。</p>
内橋市長	<p>本日ここに、晴れて西脇市と黒田庄町との合併協定調印式を迎えることができました。心よりお礼申し上げます。</p>
内橋市長	<p>また本日は、この合併協議に際し、格別のご支援、ご協力をいただきました藤本兵庫県副知事、山本県議会議員をはじめ、多く</p>



発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>の皆様方にご臨席をいただきました。誠にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。</p> <p>そして、きょうの日まで、合併協議会全般にわたりまして、常に大局的な見地から熱心にご議論をいただきました合併協議会委員の皆様をはじめ、両市町議会議員の皆様、さらには様々なご意見をお寄せいただきました多くの皆様方に、深く感謝を申し上げる次第であります。</p> <p>はじめに、先月20日に襲来いたしました台風23号は、西脇市や黒田庄町に大きな爪跡を残しました。被災されました方々に、この場をお借りいたしまして、改めて心よりお見舞い申し上げます。</p> <p>現在、1日も早い復興、あるいは生活再建に向けて、全力を挙げて取り組んでいるところでございますので、本日ご列席の皆様方のなお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>さて、昨年11月7日に西脇市と黒田庄町との法定合併協議会が設置され、特例法期限内の合併を目指して、本日まで14回の協議会が開かれ、合併に必要な44の協議項目の調整方針など全て確認され、先日の住民説明会を経て、本日の調印式となったものであります。</p> <p>協議会設立以来、一年余りで協議が終了できましたのも西脇市と黒田庄町との信頼関係、また、協議会委員皆様のお骨折りがあったからこそであります。</p> <p>今、全国各地で市町村の合併協議会が設置され合併協議が行われておりますが、合併は地方分権の時代にふさわしい、住民本位のまちづくりを実現していくために、新しい市町村の体制をまず、整えようというのが、今回の市町村合併の出発点でもあります。</p> <p>こうした中、西脇市と黒田庄町は、古くから歴史や経済、文化</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>などの面におきまして、密接な繋がりを持った地域であり、また、近年では、通勤や通学、買い物などの生活圏の一体化が進んでまいっております。</p> <p>このような状況の中、先人のご努力によって築き上げられてきた、それぞれの歴史、伝統、文化を尊重するとともに、各地域が持つ資源や魅力を共有し、連携を図りながら、特色そして個性あるまちづくりを一体的に進める一方で、行財政の効率化に努めなければなりません。そして、住民の皆様方のご要望に添って、さらなる地域発展を目指さなければならないと考えております。</p> <p>しかしながら、本市の置かれております現状を展望するとき、限られた財源の中で、社会基盤の整備や市民福祉の充実、産業・教育文化の振興など、多様化した様々な行政需要に対し、如何に対応していくか、市政に対する課題は山積している状況でございます。合併後は新市の力量が試されるということになります。魅力と活力に溢れる安全・安心なまちづくりが求められているところであります。</p> <p>今後、合併協議会で策定いたしました新市建設計画に基づきまして、新市の将来像であります「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまち にしわき」の実現を目指して、住民の皆様の熱い思いにお応えできるように、平成17年10月1日まで気を緩めることなく、新生「西脇市」の強固な礎づくりに全力を尽くす所存であります。</p> <p>終わりになりましたが、合併を契機とした新市のまちづくりが、20年後、30年後に至っても、多くの方々から高い評価を受けられることができるよう、新市誕生に向けて、一步一步確実に、前進してまいりたいと考えておりますので、皆様方におかれましても、今後とも、西脇市と黒田庄町の合併に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私のごあいさつとさせていただきます。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p>司会者</p> <p>東野町長</p>	<p>本日は、お忙しいところ誠にありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、東野黒田庄町長、お願いいたします。</p> <p>改めまして、みなさんこんにちは。</p> <p>本日、藤本副知事、山本県議会議員ほか多数のご来賓を迎え、また多くの両市町民の皆さんの期待を受け、西脇市・黒田庄町の合併協定の調印式を行えること、誠に喜びにたえません。</p> <p>昨年11月7日に、西脇市・黒田庄町の合併協議会を設立し、14日に第1回の協議会を開かせていただいてからちょうど1年になります。1年間で全ての協議を終え、調印ができるというのは、全国でも珍しい協議であったのではないかと思います。</p> <p>これほどスムーズな合併協議ができましたのも、19名の協議会委員の皆さんが新しいまちを力を合わせて一緒に創り上げようという精神の元、それぞれのまちの立場やこれまでの経緯経過を思いやりながら積極的に取り組んでいただいた結果でありますし、内橋会長には、大変な中、大きな気持ちで慎重に協議を進めていただいたと感謝しています。</p> <p>特に黒田庄町の住民の方々には、合併に伴って役場はどうなるのだろう、自分たちの生活はどうだろう、黒田庄の特性は残せるのだろうかなど、多くの不安がありました。その払拭のために、ご努力をいただきました。例えば、新市の名称は「西脇市」とする。ただし、黒田庄町については、地区名の前に黒田庄町を付した14の大字名を使用する。また、新市の事務所は現西脇市役所とする。ただし、現黒田庄町役場は、当分の間、「黒田庄地域総合事務所」として住民生活に関係する全ての部門を残すことになりました。</p> <p>また、市町合併について、よく、地理的、歴史的、文化的に共有できる歩みがあり、広域的な行政課題が共通する市町が新しいまちを作るべきであると言われていています。西脇市と黒田庄町は、</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>国道175号の問題、県道バイパスの課題や加古川の整備、JR加古川線の電化等共通した課題があります。ごみ処理・消防・火葬場等もすでに共同処理を行っています。住民の方々にとっても、通勤・通学、通院、買い物等、一体的な生活圏を形成しています。そのため、両市町民にとってもこの合併が共感を得られ、スムーズな合併協議ができたと考えます。</p> <p>現在、市町村合併の動きが、全国的に、加速度的に進められてきています。このことは、合併特例法による平成17年3月末までの様々な特例措置による側面と共に、地方分権の大きな流れの側面があると考えています。今それぞれの市町に求められていることは、その地方のことはその地方に住む住民自身が、自ら考え、決定することを基本とする、自己責任・自己決定の考え方があります。少子・高齢社会が急激に進展している現在、住民自身が行政と協働しながらまちづくりを進める中でこそ、特色ある地域を創り出し、地域の活性化を生み出すことができます。</p> <p>今回の合併協議の中で、特徴的なことのひとつに、新市まちづくり計画検討小委員会の皆さんが熱心に討議いただき、市民自治・地域自治の実現に向けてのご提言をいただいたことが挙げられます。具体的には、黒田庄町の地域総合事務所と共に西脇市の旧村単位に設置される、仮称ではありますが「地域振興局」を設ける方向で協議が整ってきたことです。地域振興局は、参画と協働の社会づくりに向け、アドバイザー等の職員配置を行い、地域の活性を図ろうとする機関でありますし、地域自治（ローカル・ガバナンス）を育てる全国に誇れる考え方だと考えています。</p> <p>新しい西脇市の目指す方向、先ほど会長の方からもお話のありましたとおり「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまち にしわき」サブタイトルとして「市民が主役！ 次世代につなぐふるさとの創造」と決定していただきました。このテーマの意味合いは、私自身としては、新しい西脇の市民が、自分たちが住む</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
<p data-bbox="284 1305 373 1339">司会者</p> <p data-bbox="252 1541 405 1574">藤本副知事</p>	<p data-bbox="448 315 1323 696">この西脇市を自分たちの手で良くしていくのだという気持ちのもと、行政もしっかり役割を果たしながら、住民と行政がお互い協力して、住みよいまちづくりをしていくこと、さらに、人材育成もしっかりしながら、先人から引き継いだこの地域の良さを子ども達や孫達の次世代に伝えていくことだともとらえています。新しく発足する西脇市で、住民と行政の参画と協働を機軸とするまちづくりが進むことを願ってやみません。</p> <p data-bbox="448 723 1323 931">新市発足まで、10か月あまりとなりました。新市発足までに調整すべき事項、準備すべき事柄も多々あります。新しい西脇市のもと、黒田庄地域の再スタートがスムーズに切れるよう、私自身も残り10か月を精一杯頑張りたいと考えています。</p> <p data-bbox="448 958 1323 1223">終わりになりましたが、これまで、西脇市・黒田庄町の合併協議にご尽力をいただきました協議会の委員の皆さん、事務局職員の皆さん、両市町議会の議員の皆さんをはじめ、全ての関係者の皆さんに衷心より厚くお礼を申し上げ、私のごあいさつとさせていただきます。</p> <p data-bbox="477 1249 911 1283">本当にありがとうございました。</p> <p data-bbox="477 1310 823 1344">ありがとうございました。</p> <p data-bbox="448 1370 1323 1514">続きまして、本日ご臨席をいただいておりますご来賓の方からご祝辞を賜りたいと存じます。まず、兵庫県副知事藤本和弘様、よろしくお願いいいたします。</p> <p data-bbox="448 1541 1323 1630">ただ今は、厳粛な中でも合併協定の調印式が終了いたしましたこと心からお祝いを申し上げたいと思います。</p> <p data-bbox="448 1657 1323 1800">そして、本日お集まりの皆様方におかれましては、平素は県政推進のために何かとご支援なりご尽力を賜っておりますこと、この席を借りまして、厚くお礼を申し上げる次第でございます。</p> <p data-bbox="448 1827 1323 1971">ごあいさつを申し上げる前に、今回の台風で大変な被害に遭われました皆様方に心からなるお見舞いを申し上げるわけですが、ご案内のとおり、ことしの台風、日本本土に上陸した数は</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>10個ということでございまして、平年は約2.6個でございますから、約4倍ということであります。</p> <p>そういった中で、兵庫県に襲来しましたのが16号、18号、21号、そして23号ということで、それぞれ大きな被害をもたらしたわけでありまして。特に23号におきましては、当地黒田庄町、西脇市においても大きな被害を及ぼしたわけでございます。一人の方が尊い命をなくされました。心からなる哀悼の誠を捧げたいというように思います。</p> <p>倒れた家が50戸、床上浸水は961戸、床下浸水も387戸ということでございます。</p> <p>こういったことについて、我々県といたしましても、できるだけ措置を講じなければいけないということで、昨日から県議会が開催されているわけでございますが、補正予算といたしまして、776億の予算、かつてこういった災害ではない予算を提案させていただいております。</p> <p>きょうも、山本先生がお見えでございますけれども、山本先生から地元を代表して、予算を出す以上はこれを早く議決して、生活者支援、そういった方々に給付をしていただきたいということで、我々としても早く議決をするというふうにおっしゃっていただいております。おそらく12月1日には県議会の方で、議決もされるのではないかなというように思っております。</p> <p>そういうふうになりますと、県といたしましては、できるだけ早くそういった支給方法なりを決めまして、一日も早い支給をしてまいりたいというふうを考えております。</p> <p>そういった中で、復旧・復興に努めてまいりたいというふうを考えておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思っております。</p> <p>さて、本日のこの合併、色々ありました、大変色々な課題の中で、昨年の11月に合併協議会が設立されたわけでありま</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>す。そういった中におきまして、内橋市長さん、東野町長さん、そして議会の議長さん、そして兵庫県の皆さん、そして協議会委員の皆さん方の大変なご尽力の中で本日が迎えられたものとそういうふうに思っているわけでございます。ご苦労に対して深甚なる敬意を表したいと思えます。</p> <p>ご案内のとおり、今地方というのは大きな転換期を迎えております。皆さん方もご案内のとおり、平成12年に地方分権一括法というのが施行されたわけであります。</p> <p>これは何かといいますと、色々な権限、今まで国と県と市町というのはそれぞれ、上、下こういう関係でありましたが、これが、対等、平等の関係になったわけであります。それに伴って、色々な権限が地方に委譲されてきたわけであります。</p> <p>ところが、いかんせん、その時に権限は下りましたけれども、財源、お金の方がついてこない、というのが12年の分権法でございまして、それを1日でも早く解決しなくてはいけないということで、我々も要求をしまいいりまして、昨年に三位一体改革ということで、補助金を地方へ渡そうということで、昨年1兆円の補助金が削減され、地方にということになったわけでございます。</p> <p>昨年は、実質的な1兆円に対して、財源措置されたのは4,500億円でありますから、これではいけないという色々な問題がありましたけれども、やはり第一歩を踏み出したということについては評価できるだろうと思えます。</p> <p>ことしにおきましても、知事会等地方六団体というのがありますが、それが今3兆2,000億の財源をよこせ、補助金をカットして財源をよこしていただきたいということで要望もしております。今新聞等でもにぎわしておりますけれども、おそらく近々のうちに方向がきちっとする。この前にも基本方向が出ましたけれども、あれは何を言うとするのか私自身もよくわから</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>んような状態でありますから、おそらく具体的な問題として近々のうちに示されるのであらうと思います。やはり今これが上手くできないと、地方が生きるか死ぬかという瀬戸際だらうというふうに私は思っております。</p> <p>なぜ、そういうふうになりますかと言いますと、やはりこれからは地方の時代であり、地方にお金も権限も与えることによって地方が自分で決めて、自分で仕事をするということになるわけでございます。</p> <p>したがって、自由に遣えるお金ということが非常に大切であります。そして、地方それぞれが、特色のある地域づくりを進めていく必要があらうというふうに思っているわけでありまして。</p> <p>そういった中で、この合併というのは、今も市長さん、町長さんからもお話がありましたように、やはり地域がきちとした財源、財政運営の中で市民のために色々な事業が展開できるとこういうふうになってくるわけでございます。</p> <p>従いまして、これからはこのスローガンにも掲げられておりますように、「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまち にしわき」ということをテーマとして、新しいふるさとづくりに向けて取り組んでいただきたいこういうふうに思っております。</p> <p>県といたしましても、できる限りのご支援なりをしてまいりたいと思っております。</p> <p>また、新市発足は来年の10月であります。色々な課題も出てこようとは思いますが、そこは皆さん方力を合わせて取り組んでいただき、新市の誕生に向けてご尽力を賜ればなとこういうふうに思っております。いずれにいたしましても、苦難の中で、きょう合併調印式にこぎつけられました皆さん方に心からなる敬意を表し、ここにご参会の皆さん方のご健勝、ご多幸を祈念いたしまして私のお祝いのあいさつとさせていただきます。</p> <p>本日は大変おめでとうございました。</p>





発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>がらなければならない、こういうふうな気運が見受けられます。</p> <p>それを支援するという意味においても、昨日井戸知事がかなり思い切った補正予算を提案してくれました。本当にそれがかゆいところへ手の届いた、100%のものであるか、そうはいかないとは思いますが。ですけれども、許す限りの範囲において、思い切った提案、それをしていただいた。そのことに対して、一議会人としてそれなりに一生懸命に審議をしていかなければいけない。そういうふうな決意も持っているものでございます。</p> <p>被災をされました皆さん方には、高場からではございますけれども、心からお見舞いを申し上げます。</p> <p>さて、この合併の問題につきましては、県下各地で色んな組み合わせの議論が進んでございます。スムーズにいつているところ、いつているかに見えて、途中でおかしくなりつつあるところ、色んなケースがございまして。合併が是であるのか非であるのか、そういう短絡的な質問をされるとき、判断する立場、立場によって色んなご意見があるだろうと思っております。</p> <p>その一つひとつは、見方によっては、切り口によっては正論だろうと思っております。ところが、360度正論ばかりでお互いが考えておいたのでは、結果として何もできない、何もしない、そういうところへ連なっていくと私は思っております。</p> <p>色んな正論をたたき合わせながら、最終的に将来の当地域にとって、あるいは1市1町のこの合併にとって、何が歴史的に正しいという結果をもたらすかどうか、そういうふうな信念と信念とのぶつかりあひっこであるこういうふうには思っています。</p> <p>自分の信じる信念、その信念の塊がきょうの調印式になったものでございます。</p> <p>とは申しましても、新市が正式にスタートするまでには、まだまだ詰めなければいけない、越えなければいけない、たくさんの課題があるというふうにも思っております。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
司会者	<p>お集まりの皆さん方、23号台風の被害から立ち上がる一つの非常に大事な節目であるこの調印式が、という意味もこめて、本日の意義を心にきっちりと思いとめたいこういうふうを考えてございます。</p> <p>本日のこの調印式本当におめでとうございます。</p> <p>そして、委員の皆さん本当にご苦労様でございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日ご臨席を賜りましたご来賓の皆様お一人おひとりから、ご祝辞をいただくのが本意ではございますが、お名前のみのご紹介とさせていただきます。</p> <p>先ほどご祝辞をいただきました兵庫県副知事藤本和弘様でございます。</p>
藤本秘書 司会者	<p>衆議院議員井上喜一様の代理で秘書の藤本様でございます。</p> <p>本日は誠におめでとうございます。</p> <p>先ほど、ご祝辞をいただきました兵庫県議会議員山本章様でございます。</p>
櫛笥県民局長 司会者	<p>北播磨県民局長櫛笥享夫様でございます。</p> <p>本日はおめでとうございます。</p> <p>兵庫県企画管理部企画調整局市町振興課長小谷敦様でございます。</p>
來住助役	<p>北播磨県民局企画調整部市町振興・防災課長藤田和己様でございます。</p> <p>以上をもちまして、西脇市・黒田庄町合併協定調印を無事終了することができました。</p> <p>ここで、西脇市助役來住壽一から謝辞を申し上げます。</p> <p>本日、藤本兵庫県副知事をはじめ、多数のご来賓のご臨席のもと、大変熱心にご協議いただきました合併協議会の委員の皆様、そして、西脇市・黒田庄町両議会の議員の皆様、それぞれの地</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
	<p>域・各種団体の代表の皆様のご出席を得まして、両市町の合併協定調印式が滞りなく終了いたしました。</p> <p>誠にありがとうございます。お礼を申し上げます。</p> <p>特に合併協議会の委員の皆様には、昨年の11月からわずか1年という厳しいスケジュールにも関わらせず、大局的な見地から真摯なご協議をいただきましたこと重ねてお礼を申し上げます。</p> <p>振り返りますと、本日の調印式までには色んな議論がございました。特に県ご当局には大変お世話になりましたが、特に北播磨県民局の前小畑局長様、現櫛笥局長様をはじめ、関係の皆さん方にはその都度的確なご指導をいただきました。その後も引き続き今日まで変わらぬ暖かいご支援を賜りましたことを厚くお礼を申し上げます。</p> <p>本日は、両市町にとりまして、歴史の1ページを飾る日となりました。しかしながら、皆様もご存知のとおり、行財政を取り巻く環境は非常に厳しく、地方分権の流れは本格化しております。この合併を更なる発展を期する節目として新市まちづくり計画に謳っています「いのちいきいき 自然きらきら 共生のまちにしわき」のテーマに沿って、新しい西脇市が明るい夢と希望に溢れたすばらしいまちになるよう、参画と協働による地域自治、市民主体のまちづくりを推進してまいりたいと考えております。そして、それぞれの地域の歴史、文化を踏まえお互いの地域特性を発揮しながら、合併してよかったと実感できる新しい西脇市を築いていかねばなりません。</p> <p>今後とも皆様には一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>はなはだ、簡単なお礼のことばとなりましたが、これにて謝辞に代えさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
司会者	<p>ここで、本日、ピアノの演奏をしていただきました長井典子様をご紹介申し上げます。</p> <p>長井さまは、西脇市和田町出身で、大阪音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻をご卒業され、大学在学中より、各地で演奏活動を行われております。現在、湊川短期大学で非常勤講師としてご活躍されております。</p> <p>ここで、長井様にピアノ演奏をお願いしたいと思います。曲は、19世紀末から20世紀にかけて活躍したイギリスの作曲家エドワード・エルガーの「愛のあいさつ」です。</p> <p>この「愛のあいさつ」は、アリスという女性との婚約に当たり贈られた曲であり、エルガーとアリスは生涯おしどり夫婦として仲むつまじく過ごしたということだそうです。</p> <p>伸びやかで明るく素直な喜びに満ちた旋律は、これからの西脇市と黒田庄町の将来を象徴していると思います。</p> <p>「愛のあいさつ」は普段ヴァイオリンで演奏されますが、本日はピアノで演奏していただきます。</p> <p>それでは、長井様お願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（「愛のあいさつ」演奏）</p>
司会者	<p>ありがとうございました。皆様、もう一度大きな拍手をお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（ 拍 手 ）</p>
司会者	<p>それでは、最後に、黒田庄町収入役松原照幸から閉式のことばを申し上げます。</p>
松原収入役	<p>皆様、本日は大変お忙しい中、ご出席を賜りまして、誠にありがとうございました。ただ今、滞りなく合併協定調印を終えることができました。</p> <p>活力ある新市のまちづくりに皆さん方の更なるご支援を賜りますことをお願いいたしまして、閉会のことばとさせていただきます。</p>

発言者	議 題・発 言 内 容・決 定 事 項
司会者	<p>本当に、本日はありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、西脇市・黒田庄町合併協定調印式を終了させていただきます。</p> <p>なお、お帰りの際には、受付にて駐車券をお渡ししておりますので、まだの方はお申し出ください。本日は大変ありがとうございました。</p> <p style="text-align: center;">（ 閉 会      午 後 3 時 1 9 分 ）</p>